

# 町会ニュース

第66号  
H31. 3. 31  
(発行)  
箕土路町会



- ⑤公園でのボール遊びの是非
  - ⑥子ども安全見守り隊の増員
- ここに改めて総会出

## 定期総会開催される 災害対応・対策に注力!

三月十七日(日)午後二時から町会館にて平成三十年度町内会定期総会が開催されました。(開会時点での出席者九十三名 委任状百九十三名)



一、**議案**  
平成三十年度活動報告

- 二 同会計報告
  - 三 各団体監査報告
  - 四 平成三十一年度新役員承認
  - 五 動計画
  - 五 同予算
- の五案件が可決承認されました。

総会での質問 意見は次の通りです。  
①少年団とはどういう団体か?  
②盆踊りの開催日数  
③災害対策の中で  
・要援護者対策  
・防災マップ作成  
・八木北小学校以外の避難場所の確保  
④防犯カメラ設置場所



本年四月で平成が終わり、五月から新年号へ移行します。平成三十年間を振り返ると、次々と自然災害にみまわれた時代でありました。三年雲仙普賢岳火砕流。五年北海道南西沖地震。七年阪神淡路大震災。十二年三宅島噴火(島民三千人避難)。そして二十三年には東日本大震災が発生。死者、行方不明、関連死二万人以上、今でも五万人以上が避難生活を余儀なくされています。その他、大雨、猛暑、豪雪など自然災害が多く発生しました。

### 白樫会長開会挨拶 (要旨)

た。地球規模の気候変動の中、今後も自然災害が発生する恐れがあります。広域的災害が発生



すれば市役所、警察、消防など、公的機関からの支援は困難で、三〜七日間は自力で生活することが必要です。

このため、今後、防災対策の充実、強化に努力して行きたいと考えており、この活動の充実、強化するには、女性の視点も重要であり、今年度、女性二名の方に町役員に就任していただきました。防災、災害時対策は、自治会の役員、

## 街角散歩

### 子ども安全見守り隊について

朝夕、箕土路町内を多くの通勤の自動車、自転車等が通過し、交通量は大幅に増加します。町内には歩道のある道路は少なく、また、見通しのよくない交差点もあり、八木北

小学校に通学する子どもたちは車に気をつけながら通学しています。そこで、町内の有志が声をかけ、小学生の登校時に通学路(交差点等)に立って子どもたちの安全を見守っています。

箕土路町では現在六人の方が交代で小学校の登校時間帯(午前七時四十分〜八時二十分頃)に交差点などに立って見守っています。八木北小学校藤原校長先生は

「通学路の見守りは学校では目が届きにくいところ。是非、見守りボランティアとして協力してほしい。」と呼びかかっています。小学校を通じて子ども安全見守り隊として登録すると、市教育委員会が傷害保険に加入するとともに、見守り時に使用する帽子と安全旗が学校から届けられます。箕土路町内会の皆さん、ぜひ協力

※お問い合わせは八木北小学校まで  
電話四四三二六六三二

(写真は箕土路公園交差点で見守る西村さんと子どもたち)



- 評議員だけでなく町内会の傘下の団体、町民全体の協力が絶対に必要です。引き続き、町内会各活動への支援協力よろしく願い致します。
- 平成三十一年度  
**町内会役員**
- 顧問 吉田篤
  - 会長 白樫裕
  - 副会長 近土安孝
  - 村木茂満
  - 松井勝己
  - 書記 西野豊
  - 会計 畠中章
  - 書記補佐 山本ツネ子
  - 会計補佐 村田愛子
  - 監事 塚本浩司
  - 吉田裕彦
  - 相談役 三宅正剛

